日本英語学会 第 40 回大会 公開特別シンポジウム

英語の常識・世界の言語の非常識：

英語学の知見が個別言語の研究に与える正の影響と負の影響

2022 年 11 月 5 日（土）

16：00 ～ 18：45

Zoom によるオンライン開催

要事前登録

参加費不要

本シンポジウムでは、コイサン諸語、ドイツ語、ロシア語、マレー語、タガログ語、ラマホロット語の具体的な現象の分析を通して、英語学における概念や理論が各言語の分析にどのような影響を与えているかを紹介する。特に、各講師が実際に個別言語を分析する際に感じている英語学が与える負の影響を検討しながら、(i) 英語の研究から発展した概念や理論を言語の比較の指標として用いる有効性、(ii) 英語の現象だけを見て「言語」とはこうであると一般化する危険性、(iii) 英語学の知見を各言語の分析に応用する際の注意点等についても検討していく。最終的には、異なる言語を専門とする研究者間での有益な意見交換を行うと同時に、複数の言語を見ながら英語の現象や言語一般を論じる重要性について再確認する。

司会	大谷　直輝（東京外国語大学）	
講師	中川　　裕（東京外国語大学）	「コイサン諸語のクリック子音の音韻分析：SPE と単一音素分析の系譜 」
講師	藤縄　康弘（東京外国語大学）	「完了時制 vs. 過去時制 ― ドイツ語研究から省みる」
講師	後藤　雄介（東京ロシア語学院）	「ロシア語において DP という機能範疇を設定する必要性 」
講師	宮内　拓也（東京大学）	
講師	匹田　　剛（東京外国語大学）	
講師	野元　裕樹（東京外国語大学）	「何を受動文と呼ぶか･呼ばないか?」
講師	長屋　尚典（東京大学）	「英語と世界の言語の与格交替」

大会情報：http://elsj.jp/meeting/

お問い合わせ：elsj-info@kaitakusha.co.jp